

関西女子学生バスケットボール連盟
2021 年度 第 4 回 常任理事会 議事録

日時 : 2022 年 2 月 19 日 19 : 00～

場所 : ZOOM による遠隔操作

出席者

〔常任理事〕 丸岡信吾、荒木初広、西川幸穂、古本ルミ、畑岸邦枝、石橋将広
柳生志乃、玉井里英、市谷浩一郎、岸本里紗、村上なおみ、山中博史
坂井和明、佐々木真弓

〔学生委員〕 山下果歩、前川由衣、本庄由依、金崎睦、神田百代、多久島愛梨
奈良井愛水、門脇早希、船田理紗子、永吉芽衣、高田奈々、足立奈月
島美悠、鶴田彩海

書記 : 島美悠

古本総務部長から、出席状況の確認を行い、連盟規約の要件を満たしており、本日、の会議は成立することの報告があった。丸岡理事長を議長として議事遂行することとした。

〈議題〉

1. 今後の関西女子学連の将来構想（資料 1）

荒木副理事長より、資料 1 に基づき説明があった。2022 年度のリーグ戦は 1 部を 10 校のままにすると報告された。2023 年度以降の 1 部の大学数を決め、1 部の入替戦をどのように行うのかを検討したいと報告された。また、5 部をなくし 4 部の数を 15 校にするという案も示され、継続検討することとなった。

2. 2022 年度西日本学生バスケットボール選手権大会に向けての準備状況について

荒木副理事長より、口頭で説明があった。2 月 5 日西日本学生バスケットボール選手権について、男子学連と打合せを行い、開催する方向であると報告された。次回 2 月 25 日に、今後の具体的なことについて打ち合わせをしていく段階であると報告された。懸念事項として、状況により、大会中止になれば、体育館のキャンセル料が発生することや、参加費の取扱い方などがあげられた。

3. 2022 年度加盟に際する登録の手続き等について

古本総務部長より、口頭で説明があった。JBA の登録が各チーム 3 月 6 日から受付

を開始すると報告された。コロナ禍のため密にならないよう、各チームに連絡を取り、加盟登録事務手続きは時間割を組み、実施すると報告された。

4. 2022 年度広告協賛要請について

畑岸広報渉外部長より、資料 2 に基づき説明があった。以前実績があった企業を中心に広告の募集を行っているという報告された。また、新たな広告企業にも交渉を進めていると報告された。

5. 2021 年度リーグ戦中に発生した機材の紛失とその発見に関する顛末

西川副理事長より、資料 3 に基づき説明があった。2021 年 11 月 7 日にリーグ戦が横大路体育館会場にて開催された際、ウェブ配信に使用された映像機材が紛失していたことが 12 月 2 日になって発覚し、再三にわたり捜索して見つからなかったが、その機材は 1 月 15 日に事務所から発見されたという顛末が報告された。今後は、各会場の用品をリストにし、点検、確認するなどの改善点を報告され、各会場責任者も今後は確認をしてほしいと要請された。

6. 学連員の選出状況について

古本総務部長により、口頭で説明があった。学連員の選出を再度お願いしたいと報告された。また、学連員の選出においては規約に添って各所属校の推薦によって選任してほしいということを再度確認された。

〈協議事項〉

1. 理事の辞任と、それに伴う後任理事の推薦について

古本総務部長により、口頭で説明があった。京都産業大学の渡辺監督が理事を退任され、新しく京都産業大学より石川氏が推薦されたと報告された。今回の常任理事会で承認された。

2. 2022 年度の運営費、運営協力費の徴収費目変更と大会参加費の扱いについて

古本財務副部長により、口頭で説明があった。来年度より運営費は大会会計に科目として取り扱うと報告された。運営費については、前年度の全関西の決算がマイナス決算であることや、リーグ戦の試合数が今後増えることが予測されることから、運営費を一万円値上げする可能性があることが示された。参加費については、現状維持させたいが、財務部会にて検討して次回理事会にて提案すると報告された。

3. 2022 年度全関西女子学生バスケットボール選手権大会の大会要項と競技注意事項につ

いて

荒木副理事長により、資料4に基づき説明があった。

予選をプール選にし、3または、4チームでの総当たりのリーグ戦方式にし、準決勝、決勝についてもリーグ戦にするという方針が示された。体育館の確保状況によるが、4月10日～4月24日にプール選を行い、4月29日～5月1日、3日、4日に、リーグ戦を行うと示された。

また、大会出場の締切りは3月11日までとし、12日に抽選を行うと報告された。

大会参加費は、財務部の調整により変更の可能性もあると報告された。

4. 2022年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦について、一今後の編成を見据えて

石橋競技部長より、資料5に基づき説明された。今後の部編成を見据えてリーグ戦の競技方法を競技部会で検討していくと報告された。

5. 2022年7月開催される日学主催の新人戦の出場チーム推薦方法について

坂井強化部長より、資料6に基づき説明があった。関西地区から新人戦の出場チームの選出方法は、全関西大会結果、または全関西大会と西日本大会の順位結果を合算した上位4チームもしくは8チームで、1回生から3回生で編成されたチームで予選を行う案が示された。現段階で、エントリー締切りが未定だが、6月19日までに行うことを原案として、理事会で提案することとなった。

6. その他

柳生審判部長より、口頭で説明があった。学生のオンザコートでのレフリーを経験させたいので、競技部と調整しながら学生の審判育成に努めると報告された。

〈学生委員からの報告事項〉

- ・ 広報渉外部

神田学生委員より、口頭で説明があった。バスケプラス講習会について、3月8日(火)の14時よりエル・おおさか(会議室)にて行うと報告された。コロナによって延期になった場合は3月の下旬に行うと報告された。延期の判断基準も決定の上、次週には各大学に案内のメールを送ると報告された。

以上